

令和 3 年 9 月 14 日

会員各位

一般社団法人 日本生殖医学会
理事長 大須賀 穰
(公印略)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する日本生殖医学会からの通知
～海外の動向について～

日本生殖医学会では、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対して令和 2 年 4 月 1 日付、5 月 18 日、7 月 10 日、9 月 18 日、11 月 17 日、令和 3 年 1 月 18 日、5 月 12 日、7 月 15 日付の計 8 回、本会会員に向けて文書を発出し、会員の先生方に日々変化しております新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況について定期的な情報発信・提供を行っております。今回は前回(2021 年 7 月)の報告以降、海外学会における COVID-19 に関する声明等として以下をご紹介します。

他学会からの情報であり、日本生殖医学会からの提言ではないことは、ご注意ください。

前回(2021 年 7 月)の報告以降、海外学会における COVID-19 に関する声明等は以下のリンクにございます。

American Society for Reproductive Medicine (ASRM)(2021 年 8 月 20 日更新)

[ASRM COVID-19 Task Force Issues Update No. 17 | ASRM](#)

おもに患者へのワクチン接種対応に関する心構えが記載されております。デルタ株に関しては増えている、という記載のみでございました。下部の※に翻訳をご紹介します。

The American College of Obstetricians and Gynecologists (ACOG)(7 月 30 日に更新)

[COVID-19 Vaccination Considerations for Obstetric-Gynecologic Care | ACOG](#)

詳細な記載になっておりますが、特に新しい情報はなく、特にデルタ株に関して記載はございませんでした。

European Society of Human Reproduction (ESHRE)

前回から update は確認できませんでした(最終更新 2021 年 6 月 9 日)

<https://www.eshre.eu/Europe/Position-statements/COVID19>

The Society for Maternal-Fetal Medicine (SMFM)

特に追加の声明等ございませんでした。

<https://www.smfm.org/covid19>

また、WHO および関連学会の声明については、下記 URL もご参照ください。

WHO <https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019>

日本産科婦人科学会 http://www.jsog.or.jp/modules/jsogpolicy/index.php?content_id=10

IFFS <https://www.iffsreproduction.org/page/COVID-19>

ESHRE <https://www.eshre.eu/Press-Room/ESHRE-News>

ASRM <https://www.asrm.org/news-and-publications/covid-19/>

ICMART <https://www.icmartivf.org/news/>

American Society for Reproductive Medicine (ASRM)(2021年8月20日更新)

[ASRM COVID-19 Task Force Issues Update No. 17 | ASRM](#)

以下、翻訳してご紹介いたします。全文は上記 URL をご参照ください。

ASRM の COVID-19 タスクフォースが更新情報 第 17 版を発行

2021年8月20日

<作成> 米国生殖医学会 (ASRM)

<出典> ASRM Bulletin (ASRM からのお知らせ)

COVID-19 ワクチン接種とワクチン忌避について

- 2021年8月18日現在、アメリカ合衆国(米国)における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の1日当たり新規感染者数の7日間移動平均(114,190人)は、前週の値(96,454人)と比較して18.4%増加しています¹。また、新規感染例のほとんどがデルタ株によるという状況が続いています¹。
- 米国では、「ワクチン未接種者間のパンデミック」が依然として猛威を振るっています²。全米人口のうち、完全に接種を終えているのは50.9%のみであり、少なくとも1回接種を終えているのは59.9%にとどまっています¹。
- COVID-19のパンデミックとの闘いにおいて、重大な障害として台頭しているのがワクチン忌避です。
- ワクチン忌避の原因や解決策に関する研究は、ワクチン接種や治療法の有効性に関する研究と比べると遅れています。ワクチン忌避に関する研究の優先度を高めるべきであり、妊婦や妊娠を試みている女性をその対象に含める必要があります。
- 事務職員や医療従事者を含む全従業員に対して新型コロナワクチン(COVID-19 ワクチン)の接種を義務付ける医療機関を、ASRM の COVID-19 タスクフォースは支持します。

- 妊娠中であるか妊娠を試みているすべての女性に対して、COVID-19 ワクチン接種を強く推奨する必要がありますが、医療機関は代理母の接種義務化も真剣に検討すべきです。また、代理母によって子供を得ようとしている方々に対して、代理母との契約書に COVID-19 ワクチン接種を求める条項を含めるようアドバイスすることも真剣に検討する必要があります。
- 医療従事者は、妊娠中であるか妊娠を試みているすべての女性およびそのパートナーの両方に対し、COVID-19 ワクチン接種を促すという重要な役割を担います。
- COVID-19 ワクチンの安全性および有効性に関する質問や懸念がある患者と継続的な対話関係を築くための話し合いを、事あるごとに設ける必要があります。このために不可欠なのが、妊娠前および妊娠中の両方にわたって患者を診る産婦人科医や不妊治療を専門とする医師となります。
- 一部の患者に対しては、根拠ある科学的情報を伝えるだけではワクチン接種の重要性についての十分な安心を提供できない場合があります。共感し個人的に安心させることでこうした患者に訴えかけることは、恐怖を取り除き、ワクチン接種を促すために大いに役立ちます。

ワクチン接種について患者との会話を始める際には、例えば以下が推奨されます。

- 守ってもらえる権利を誰もが持つということ、また、自身が健康でいる権利の行使と健やかな妊娠の確率を最大にするには、ワクチン接種が重要な方法であるということを説明する
- 患者とその健康のことを気にかけており、患者が健康でいられるためにできることのすべてを確実に実施したいと思っている旨を患者に伝える
- 以下のような表現を用いて、議論を親密なものにする
 - 「もしもこれが私だったら～」
 - 「もしもあなたが私の親戚だとしたら～」
 - 「個人的な意見を申し上げるなら～」
 - 「私自身にとってワクチン接種が重要だった理由は～」
 - 「『医者としての立場』を一瞬脇に置いて、率直な意見を言うと～」
 - 「もしも私があなたの立場に置かれた場合、～のリスクが不安になると思います」

ASRM の COVID-19 タスクフォースは、医療機関が紹介や従業員のサポートのためのリソースとして、[「ASRM Mental Health Professional Group \(ASRM メンタルヘルス対策専門グループ\)」](#)を活用することを引き続き推奨します。

参考

1. Centers for Disease Control and Prevention. COVID Data Tracker Weekly Review. Available at <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/covid-data/covidview/index.html>, last accessed August 18, 2021.
2. Rochelle Walensky. July 16,2021 Press Briefing by White House COVID-19 Response Team and Public Health Officials. Accessible at <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/press-briefings/2021/07/16/press-briefing-by-white-house-covid-19-response-team-and-public-health-officials-45/>, last accessed July 2021.